

西三河支部

3件の不法投棄の報告 市・町の取組の成果について話がありました。

西三河支部（天野邦彦支部長）不法投棄防止パトロール報告会は、支部長、役員ら14名の参加のもと、6月22日（木）午後4時から岡崎市竜美丘会館ローレライ（岡崎市東明大寺町）で行われました。

パトロールは6月の環境月間に合わせて、13の地区で各自それぞれに実施され、その結果が報告されました。報告会では新しくパトロールに参加された会員の方もあり、はじめに自己紹介がありました。その後天野支部長の挨拶があり、会員からパトロールの報告がありました。



金井邦剛役員からは西尾市中畑町大山地区で飲食店舗跡の前に店舗を解体したと思われる解体ごみがそのまま放置され、不法投棄されていました。



県道豊川・片寄線の長沢口付近にフェルト、網など大量の不法投棄



近藤千雅役員からは岡崎市の山間部の細光町と滝尻町の間を走る県道豊川・片寄線の長沢口付近で鳥川に沿ってフェルトや網など大量のごみの不法投棄があったとの報告がありました。岡崎市に現場を報告したら、市ではすでに承知しており地主へ片付けるようお願いしたそうですが、地主側は誰かが勝手に捨てたので知らないとの事で困っているとの話でした。

天野支部長からは岡崎市羽根北地内の店舗駐車場内に軽乗用車の不法投棄の報告がありました。この軽自動車はナンバープレートもあり、



岡崎市羽根北地内の駐車場内に不法投棄された軽自動車

1～2年そのままの状態では放置されているとの事でした。

役員から3件の不法投棄現場が報告されました。他の役員からはごみの不法投棄はなかったとの報告でした。また地域の事情に詳しい役員からは、碧南市ではごみを回収するトラックで常時地域を巡回し、収集する取組をしている。幸田町ではシニアの方の協力体制を築き、巡回してごみを回収する取組を行っているなど地域の環境保全や快適な街づくりに大きな成果を挙げている具体的な取組についての話がありました。